



平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月8日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6097 URL <http://www.viewhotels.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 由明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	10,249	5.4	785	5.7	747	8.5	494	16.3
28年4月期第2四半期	9,720	7.9	742	89.0	688	16.4	425	19.2

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 503百万円 (18.6%) 28年4月期第2四半期 424百万円 (19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	51.09	50.86
28年4月期第2四半期	44.03	43.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第2四半期	24,999	14,792	59.2
28年4月期	24,162	14,543	60.2

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 14,792百万円 28年4月期 14,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	27.00	27.00
29年4月期	—	0.00			
29年4月期（予想）			—	23.00	23.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	6.5	1,420	7.0	1,310	4.1	730	3.3	75.42

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成29年4月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、ストック・オプション行使分(6,400株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期2Q	9,680,825株	28年4月期	9,674,425株
② 期末自己株式数	29年4月期2Q	一株	28年4月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期2Q	9,678,129株	28年4月期2Q	9,656,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日銀による経済政策、金融政策等の実施により、雇用環境が堅調に推移し景気は緩やかな回復傾向にあったものの、中国経済の減速懸念や次期大統領選挙に伴う米国の今後の政策方針等、先行きが不透明な状況が続いたこともあり、個人消費は低迷を続けました。

ホテル業界におきましては、8月から9月にかけての台風や長雨等の天候不順があり、エリアによっては観光集客での影響が見られました。訪日外国人旅行者数につきましては、1月～10月までの累計で2,000万人を突破し過去最高を記録しております。一方、新規ホテルの開業による競争の激化や民泊の広がりなど、ホテル業界の経営環境にも変化が表れております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成28年4月期からの3ヶ年の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」の基本方針1) 既存施設での継続的な設備投資、2) 新規ホテル・旅館の展開、3) 新規事業の展開に基づき、既存事業の持続的な成長と事業基盤の拡大のための取り組みを進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,249百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は785百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は747百万円（前年同期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は494百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第2四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	7,825	8,410	585	477	614	137	946	1,086	140
施設運営事業	961	885	△75	20	17	△2	34	28	△5
遊園地事業	984	998	14	240	148	△92	271	196	△75
合計	9,770	10,294	523	738	780	42	1,252	1,312	60
調整額	△50	△44	5	3	4	0	3	4	0
連結数値	9,720	10,249	529	742	785	42	1,255	1,316	60

(*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

①ホテル事業

ホテル事業では、宿泊部門において引き続き拡大傾向にある訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力した他、需要動向予測に基づく料金プランの設定による1室当たりの売上高の最大化を図りました。旗艦ホテルである浅草ビューホテルが業績をけん引した他、前連結会計年度の11月に開業いたしました両国ビューホテルが主に宿泊売上などの業績に寄与いたしました。設備投資では、成田ビューホテルの客室78室を改装し、集客力の向上を図った他、浅草ビューホテルのエレベーターや空調設備の更新工事など、安心・安全への取り組みを実施しております。

これらの結果、売上高は8,410百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は614百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

②施設運営事業

施設運営事業では、「ぎょうけい館」や「ホテルプラザ菜の花」を中心に、インターネットでの宿泊プランの充実を図りましたが、「ぎょうけい館」や「おくたま路」等のリゾート施設では8月から9月にかけての天候不順の影響が大きく、宿泊者数が減少いたしました。なお、前連結会計年度の3月に保養所の受託契約が1件終了したことにより、前連結会計年度と比べ売上高等が減少しております。

これらの結果、売上高は885百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は17百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、ナイトイルミネーションの増設工事を行い、花火大会と合わせて話題性のあるイベントを行うことにより集客に努めました。また7月に「那須の恵み M e k k e（めっけ）！ ブッフェ&マルシェ」が新たにオープンしたことにより、前連結会計年度と比べ増収となりましたが、8月から9月にかけての天候不順の影響が大きく、入園者数が減少した他、新施設オープンに伴う開業費用の計上などもあり、営業利益は減益となりました。

これらの結果、売上高は998百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は148百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、24,999百万円（前連結会計年度末24,162百万円）と、836百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,508百万円（同5,260百万円）と、751百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、20,490百万円（同18,901百万円）と、1,588百万円増加いたしました。これは、主に成田ビューホテル、那須りんどう湖 LAKE VIEWの設備投資による固定資産の増加によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、10,206百万円（前連結会計年度末9,618百万円）と、588百万円増加いたしました。

うち流動負債は、4,033百万円（同4,876百万円）と、843百万円減少いたしました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、6,173百万円（同4,742百万円）と、1,431百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、14,792百万円（前連結会計年度末14,543百万円）と、248百万円増加いたしました。これは、主に剰余金の配当の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、59.2%（前連結会計年度末比1.0ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月9日の「平成28年4月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,572	3,148
売掛金	869	761
貯蔵品	211	172
繰延税金資産	137	149
その他	471	277
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,260	4,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,066	10,627
機械装置及び運搬具（純額）	259	278
工具、器具及び備品（純額）	570	636
土地	5,974	5,974
建設仮勘定	226	462
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	17,097	17,979
無形固定資産		
借地権	1,380	1,380
その他	25	23
無形固定資産合計	1,405	1,403
投資その他の資産		
投資有価証券	40	44
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	168	160
その他	195	906
貸倒引当金	△99	△97
投資その他の資産合計	399	1,107
固定資産合計	18,901	20,490
資産合計	24,162	24,999

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,026	532
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	1,389	1,131
リース債務	44	40
未払金	1,306	1,261
未払法人税等	190	245
未払消費税等	174	109
賞与引当金	241	263
ポイント引当金	34	34
その他	303	248
流動負債合計	4,876	4,033
固定負債		
社債	418	335
長期借入金	3,203	4,797
リース債務	78	75
退職給付に係る負債	594	566
資産除去債務	47	47
長期未払金	245	201
その他	153	150
固定負債合計	4,742	6,173
負債合計	9,618	10,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,766	2,769
資本剰余金	1,686	1,689
利益剰余金	10,085	10,319
株主資本合計	14,538	14,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	4
退職給付に係る調整累計額	3	9
その他の包括利益累計額合計	4	13
純資産合計	14,543	14,792
負債純資産合計	24,162	24,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	9,720	10,249
売上原価	2,434	2,504
売上総利益	7,286	7,745
販売費及び一般管理費	6,543	6,960
営業利益	742	785
営業外収益		
償却債権取立益	—	17
その他	44	40
営業外収益合計	44	57
営業外費用		
支払利息	45	38
株式公開費用	10	0
支払手数料	34	50
その他	8	6
営業外費用合計	98	95
経常利益	688	747
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産除却損	87	49
特別損失合計	87	49
税金等調整前四半期純利益	601	701
法人税、住民税及び事業税	149	215
法人税等調整額	26	△8
法人税等合計	175	206
四半期純利益	425	494
親会社株主に帰属する四半期純利益	425	494

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	425	494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	2
退職給付に係る調整額	△2	6
その他の包括利益合計	△0	8
四半期包括利益	424	503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424	503

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	601	701
減価償却費	513	531
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	45	38
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△3
固定資産除却損	87	49
売上債権の増減額（△は増加）	△111	107
たな卸資産の増減額（△は増加）	15	39
仕入債務の増減額（△は減少）	496	△493
その他	6	△274
小計	1,652	694
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△46	△38
法人税等の支払額	△186	△169
保険金の受取額	—	112
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,420	600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△886	△1,182
有形固定資産の除却による支出	△69	△48
投資有価証券の売却による収入	—	3
差入保証金の差入による支出	—	△660
その他	20	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△936	△1,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	2,000
長期借入金の返済による支出	△570	△664
社債の償還による支出	△82	△82
ストックオプションの行使による収入	23	6
割賦債務の返済による支出	△112	△45
配当金の支払額	△192	△259
その他	△24	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△460	923
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	24	△423
現金及び現金同等物の期首残高	3,490	3,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,515	3,148

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,809	927	983	9,720	—	9,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	33	0	50	△50	—
計	7,825	961	984	9,770	△50	9,720
セグメント利益	477	20	240	738	3	742

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,398	853	997	10,249	—	10,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	31	0	44	△44	—
計	8,410	885	998	10,294	△44	10,249
セグメント利益	614	17	148	780	4	785

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。